

会長挨拶



山口県日赤紺綬有功会 会長

澤田 健規 (澤田建設株式会社代表取締役社長)

会員の皆様には、平素から赤十字の支援団体としての紺綬有功会の諸事業につきましてご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

皆様のご協力のおかげをもちまして、青少年赤十字（JRC）事業への支援として、高校のJRC加盟校37校へ国際人道法について学ぶことのできるDVDの寄贈や、海外における災害や紛争の犠牲者に対する「海外たすけあい」募金キャンペーンへの支援など、紺綬有功会として、山口県支部の赤十字事業に協力することができました。心より感謝申し上げます。

さて、一昨年から世界中で感染拡大した新型コロナウイルスは、感染者数がワクチン接種の促進などで昨年末には減少傾向に転じた一方、現在は、ウイルスの変異による感染者の増加が続くなど未だ予断を許さない状況にあります。

また、昨今は異常気象による災害も増えており、昨年は7月・8月と、九州・中国・関東地方など広い範囲が被災しました。災害は、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。海外でも、ウクライナやアフガニスタンの人道危機などで、不安定な国際情勢が続くなか多くの人々が支援を必要としています。

赤十字の人道支援活動は、コロナ禍においても国の内外を問わず苦しんでいる方々を救うため継続して実施されています。

当会としては、今後とも、災害救護・国際救援をはじめとした赤十字事業を継続的に支援していきたいと考えていますので、会員の皆様におかれましても、それぞれのお立場で、会員増強や日赤の活動資金の確保など、赤十字の仲間づくりに協力賜りますようお願い申し上げます。

山口県日赤紺綬有功会総会 書面審議

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、令和3年度山口県日赤紺綬有功会総会は、書面審議により実施しました。

議事（１）令和2年度の会務報告及び決算報告

議事（２）令和3年度の事業計画及び予算について

有功会員65名のうち56名（過半数）のご回答をいただき、そのすべての方から賛同いただき承認されました。

ご協力ありがとうございました。

全国の日赤紺綬有功会会長協議会総会 書面審議

10月に群馬県高崎市で開催を予定していた令和3年度日赤紺綬・有功会会長協議会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面審議となりました。

議事（１）令和2年度の収支決算報告並びに会計監査報告について

議事（２）役員の変更について

議事（３）次回総会の開催について

上記議事は、全て原案のとおり承認されました。

【青少年赤十字支援事業】国際人道法DVDを寄贈



コロナ禍で、青少年赤十字（JRC）活動の制限を受けている高校生に、赤十字について学ぶ機会として、国際人道法に関する動画をまとめたDVDを県内37校あるJRC加盟の高等学校へ寄贈しました。

JRC加盟校の代表校と紺綬有功会会長とで、寄贈式を開催する予定でしたが、大雨の影響で式を中止し、DVDは、事務局から各学校へお届けしました。

【国際活動支援事業】「NHK海外たすけあい」に協力

世界各国で支援を必要としている人々のために、日赤とNHKが協力して毎年12月に行う募金キャンペーン。1983年に始まって以来、これまでに世界159の国と地域に支援を届けてまいりました。

海外の災害時における医療支援や紛争での避難民への救援支援、また感染症予防の保健衛生教育を実施するための救助協力として、20,000円を寄付しました。



【支部事業】中国四国ブロック各県支部合同災害救護訓練

中国・四国9県の日赤救護班が香川県に集結し、大規模災害を想定した救護訓練を実施しました。今回の訓練では、香川県支部に設置された災害対策本部との連絡ツールとして、WEB会議システムを使用し、各地域に派遣された救護班からの避難所の状況などの情報共有をWebを繋いで連絡を取り、コロナ禍に即した訓練となりました。



甚大な豪雨災害や大規模地震災害が発生した際は、山口県からも近県へ救護班を派遣しています。直近では、令和2年7月豪雨災害の際に、熊本県へ救護班を派遣し、災害救護活動を実施しました。

【支部事業】他団体と連携～食物アレルギーに配慮した炊き出し～



災害発生時に、「アレルギーの子どもを抱える家庭に寄り添い、安心して避難できる仕組みを考えたい。」との思いから、アレルギー家族の会や気象予報士、日赤が共同で計3回の研修会を実施しました。赤十字ボランティアや市民団体、行政、他のボランティア団体など延べ140名が参加し、食物アレルギーに配慮した炊き出し訓練を行い、この研修内容や炊き出しのポイントをまとめた冊子を作成し、県内に配布しました。

【支部事業】日本赤十字社社長感謝状・金色有功章伝達式

活動資金への協力や赤十字事業の進展に尽くされた方、コロナにもかかわらず積極的にボランティア活動に貢献された方への表彰伝達式を開催しました。出席された個人7名、法人4社に、村岡嗣政支部長（県知事）から金色有功章、社長感謝状、支部長特別感謝状を伝達しました。

紺綬有功会会員から、宇部流通サービス株式会社様と加藤秀憲様が受賞されました。

<表彰>

社長感謝状	個人6名	法人4社
金色有功章	個人10名	法人5社
銀色有功章	個人7名	法人25社
支部長特別感謝状	個人3名	



国内災害義援金と海外救援金

※令和4年6月30日現在

■ウクライナ人道危機

世界の赤十字が連携し、人道支援を行っています。



▲ウクライナから避難してきた人に保険医療を提供するハンガリー赤十字社の医療ボランティア

義援金・救援金名

受付期間

義援金・救援金名	受付期間
国内災害義援金 令和2年7月豪雨災害義援金	2022年9月30日(金)
海外救援金 ウクライナ人道危機救援金	2022年9月30日(金)
海外救援金 2022年アフガニスタン地震救援金	2022年9月30日(金)
海外救援金 アフガニスタン人道危機救援金	2023年3月31日(金)
海外救援金 バングラデシュ南部避難民救援金	2023年3月31日(金)
海外救援金 中東人道危機救援金	2023年3月31日(金)

※今後、受付期間の延長や新たな義援金・救援金の受付が始まる場合がございます。詳しくは、当支部ホームページ（寄付について）をご覧ください。

役員紹介

役職名	氏名	法人：現職 個人：居住地
会長	澤田 健規	澤田建設(株)代表取締役社長
副会長	田中 康男	(株)丸久代表取締役社長
理事	野村 照男	山口市
理事	片山 雅章	山口市
理事	田中 謙吾	(株)山口産業代表取締役
理事	加藤 秀憲	宇部流通サービス(株)顧問
監事	藤元 美晴	周防大島町

令和3年度会員動向

○入退会：なし

○会員：65名・社

【個人】30名 【法人】35社

令和4年3月31日現在

会員の仲間づくり運動にご協力をお願いします

赤十字を支援する輪を広げるため、会員の皆さまには、仲間づくり運動の推進にご協力をお願いいたします。

入会資格

- 個人： 有功章受章（累積20万円以上の寄付）
紺綬褒章受章（一時に500万円以上の寄付）
- 法人： 有功章受章（累積20万円以上の寄付）
紺綬褒章受章（一時に1,000万円以上の寄付）
赤十字サポーター（年1万円の寄付の継続等）

日赤県支部活動資金へのご寄付にご協力をお願いします

自治会・町内会を通じたご協力のほか、お近くの金融機関から手数料無料でお振り込みいただけます。

西京銀行 山口支店 普通 2075763

ゆうちょ 01590-3-4076

日本赤十字社山口県支部

その他、口座振替やクレジットカード決済による活動資金納入の方法もあります。

詳しくは事務局にお問合せください。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

○山口県日赤紺綬有功会事務局

日本赤十字社山口県支部内（山口市野田172-5）

TEL:083-922-0102/Fax:083-932-3615

○会報「有功やまぐち10号」2022年6月発行



日本赤十字社 山口県支部
Japanese Red Cross Society